

内視鏡装置一式

仕 様 書

埼玉県立がんセンター

機 器 仕 様 書

1 調達物品の構成及び調達物件に備えるべき技術的要件等

番号	品 名	数量
1	内視鏡ビデオ情報システム	3
1-1	外形寸法 398(W)×218(H)×580(D)mm 以下であること。	
1-2	質量 20.0kg 以下であること。	
1-3	<p>施設保有品のビデオスコープに接続可能なこと。</p> <p>接続が不可能な場合は、施設保有品と同等の機能を有したビデオスコープを必要数追加すること。なお、施設保有品及び必要数は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンパス社製 汎用内視鏡(GIF-H290) 3 本 ・オリンパス社製 上部拡大内視鏡(GIF-H290Z) 2 本 ・オリンパス社製 汎用気管支鏡(BF-Q290) 4 本 ・オリンパス社製 細径気管支鏡(BF-P290) 3 本 ・オリンパス社製 超音波気管支鏡(BF-UC290F) 2 本 	
1-4	照明ランプに LED 光源を使用していること。	
1-5	送気・送水の機能があること。	
1-6	狭帯域光観察が可能であること。	
2	上部消化管汎用ビデオスコープ	3
2-1	有効長 1100mm 以下であること。	
2-2	チャンネル径が 2.8mm 以下であること。	
2-3	湾曲角 90° 以上、上下・左右あること。	
2-4	先端部外径 10mm 以下であること。	
2-5	光学拡大機能を有すること。	
3	上部消化管汎用ビデオスコープ	1
3-1	有効長 1100mm 以下であること。	
3-2	チャンネル径が 2.5mm 以下であること。	
3-3	湾曲角 90° 以上、上下・左右あること。	
3-4	先端部外径 5.9mm 以下であること。	
4	上部消化管汎用ビデオスコープ	2

4-1	有効長 1100mm 以下であること。	
4-2	チャンネル経が 3.2mm 以下であること。	
4-3	湾曲角 100° 以上、上下・左右あること。	
4-4	先端部外径 9.9mm 以下であること。	
5	大腸ビデオスコープ	3
5-1	有効長 1330mm 以下であること。	
5-2	チャンネル経が 4.0mm 以下であること。	
5-3	湾曲角 150° 以上、上下・左右あること。	
5-4	先端部外径 13.0mm 以下であること。	
5-5	光学拡大機能を有すること。	
6	十二指腸ビデオスコープ	2
6-1	有効長 1,250mm 以下であること。	
6-2	チャンネル経が 4.2mm 以下であること。	
6-3	湾曲角 90° 以上、上下・左右あること。	
6-4	先端部外径 13.5mm 以下であること。	
7	小腸ビデオスコープ	1
7-1	有効長 2,000mm 以下であること。	
7-2	チャンネル経が 3.2mm 以下であること。	
7-3	湾曲角 150° 以上、上下・左右あること。	
7-4	先端部外径 9.4mm 以下であること。	
8	高周波焼灼電源装置	2
8-1	外形寸法が W295×H115×D400(mm)以上であること。	
8-2	重量は 6.0kg 以上であること。	
8-3	出力方式はバイポーラ出力とモノポーラ出力に対応していること。	
9	内視鏡用超音波観測装置	1
9-1	FLOW モードを搭載していること。	
9-2	電子走査式内視鏡に対応していること。	
9-3	施設保有の超音波内視鏡ビデオスコープに接続可能なこと。	
9-4	観測用プローブが使用できること。	
10	超音波ガストロビデオスコープ	1
10-1	有効長 1300mm 以下であること。	
10-2	チャンネル経が 4.0mm 以下であること。	

10-3	視野角が 150° 以下であること。	
10-4	先端外径 14.7mm 以下であること。	
10-5	走査方式が電子コンベックス走査方式であること。	
11	内視鏡用超音波プローブ	2
11-1	20MHz の周波数に対応していること。	
12	4K UHD LCD モニター	3
12-1	サイズが 31 型以上であること。	
12-2	AC 電源を使用すること。	
12-3	12G-SDI も出力端子を有すること。	
13	モバイルワークステーション	3
13-1	総積載量は 100 kg 以下であること。	
13-2	電源トランスを有していること。	
14	内視鏡用炭酸ガス送気装置	1
14-1	フロントパネルのボタン操作でガスの送気と停止を制御できること。	
15	内視鏡用送水ポンプ	2
15-1	ビデオスコープと接続して使用可能なこと。	
16	内視鏡画像診断支援プログラム	1
16-1	大腸内視鏡画像から大腸ポリープ等の病変の存在を検出し、病変部位に矩形を表示することにより注意喚起することができること。	
16-2	大腸ポリープ等の存在を検出した際、アラーム音にて注意喚起することができること。	

2 搬入・設置に関する要件等

1	設置する場所は1階 内視鏡室 とする。
2	解体撤去工事については、納入 担当者と協議の上、しかるべき方法により解体撤去および廃棄処分をおこなう。また、費用については受注者の負担とする。
3	物品の搬入、設置および調整は納入 担当者の指示に従うこと。
4	物品の搬入、設置および調整に要する経費は受注者の負担とする。
5	物品の搬入、設置および調整は納入 担当者の立ち合い、確認を受けること。また、搬入や設置に関する工程表を提出し、納入 担当者および管財担当に説明して十分な協議を行うこと。
6	物品の搬入、設置および調整時に当センターの機器、設備、建築物に損害を与えた場合は受注者の責任と責任負担により原状回復させること。
7	設置する各装置、機器に対して転倒、落下を防止する地震対策を行うこと。
8	物品の搬入、設置および調整に必要な建築、電気、空調等の改修工事に関わる費用については受注業者が負担すること。また、設置図面や配線図面を提出

	し、納入担当者および管財担当と十分な協議を行い、障害のない円滑な工事等を行うこと。
9	設置調整後、機器の取り扱い操作方法について十分な説明指導を行うこと。

3 納入期限

令和6年12月27日

4 その他

本仕様等に対して疑義が生じた場合は、双方、誠意を持って協議対応すること。